

# 社会資本総合整備計画 中間評価

人とともに、歴史とともに、やさしく強いまち かしはら

奈良県 橿原市

評価結果のまとめ

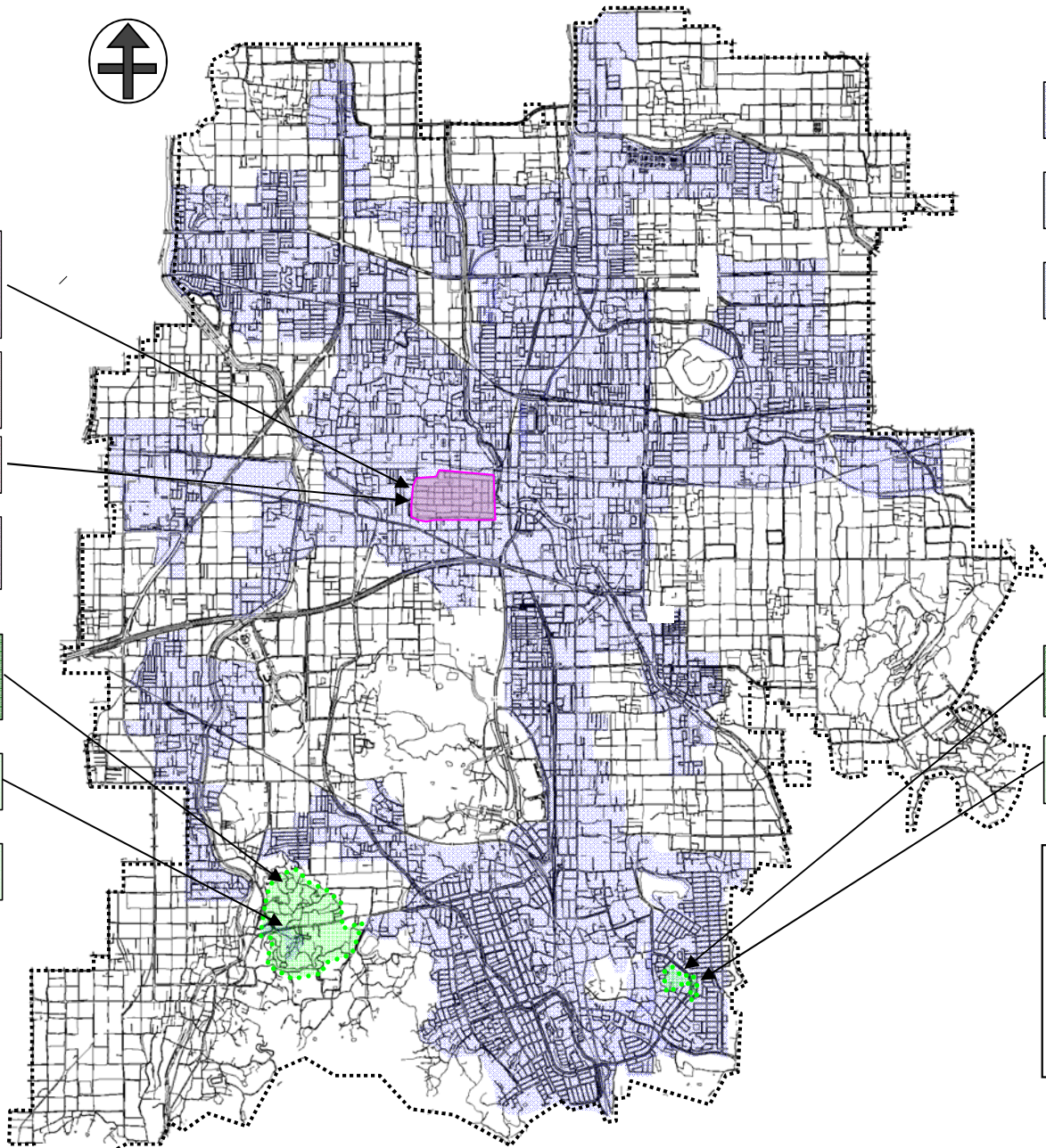
都道府県名	奈良県	市町村名	橿原市	計画期間	平成26年度～平成29年度	全体事業費	4,124,000 千円
計画名	人とともに、歴史とともに、やさしく強いまち かしはら						
計画目標	橿原市が掲げるまちづくりの理念である「人とともに、歴史とともに、やさしく強いまち かしはら」を実現するため、下水道・公園・住環境等の都市基盤整備を計画的に実施するとともに、住民一人ひとりが健康で充実した生活が送れ、「このまちが好きだ」と感じてもらえるようなまちづくりを進める。また、来訪者の方々に対して「もてなし」の心を持って迎え、「何度も訪れたい」と感じてもらえるようなまちづくりを進める。						

1)事業の実施状況	基幹事業	番号	要素となる事業名	削除・追加した理由	削除・追加による指標等への影響		
		7-A-1	第2処理区 汚水管渠				
		12-A-1	植山古墳公園整備事業				
		12-A-2	都市公園事業(新沢千塚古墳群公園)				
		16-A-1	今井町地区街なみ環境整備事業				
	関連社会資本整備事業						
	効果促進事業	C-1	第2処理区 汚水管渠(支線)	削除	平成27年度以降の事業を中止(交付対象事業から外れたため)	下水道処理人口普及率に多少影響有り	
C-2		生活排水クリーンアップ推進事業					
C-3		花いっぱい運動推進事業					
C-4		植山古墳公園					
C-5		新沢千塚古墳群公園					
C-6		観光客増加への魅力向上事業					
C-7		今井西地区環濠整備事業					
交付期間の変更	当初	平成26年度	～	平成29年度	変更	変更無し	-

指標	単位	達成度(中間評価時)			目標達成度	達成見込みの有無		所見(効果発現要因等)
		当初現況値	中間目標値	中間評価値		あり	なし	
		H26年当初	H27末	H28.8				
指標1		73.9%	74.0%	55.0%	×	●	事業の進捗に伴い満足度が増加することを見込んでいたが、市民アンケートの結果、当初現況値を下回る結果となった。整備計画に従い整備を進めているが、事業計画区域を定めて整備を進めている事業(下水道事業など)については、事業計画区域外の住民から整備の遅れを指摘する意見や、事業内容が市民ニーズに合致していない旨の指摘が、市民アンケートの自由意見欄の中で見受けられた。今後アンケートの分析を行ない、現在実施している事業が本当に市民ニーズと合致しているのかなど様々な視点から分析を行ない、満足度を少しでも上げていくよう取り組んでいく。	
指標2	%	72.3%	73.7%	75.7%	○	●	与えられた予算をより効率的に活用したことで、目標指標を達成することができた。今後も継続して、効率的に事業を実施することで、更なる普及率の向上を図る。	
指標3	m <sup>2</sup> /人	8.3m <sup>2</sup> /人	8.5m <sup>2</sup> /人	8.5m <sup>2</sup> /人	○	●	「シルクの杜」などの公園施設の整備が進んだ結果、目標指標を達成することができた。今後、新沢千塚古墳群公園や植山古墳公園などの大規模公園の未整備部分を計画に沿って事業実施していく。	
指標4	%	16.1%	20.0%	13.8%	×	●	事業の進捗に伴い、満足度が増加することを見込んでいたが、市民アンケートの結果、当初現況値を下回る結果となった。計画に従い公園整備を行っているが「近隣公園の緑地管理を行って欲しい。」等の指摘が市民アンケートの自由意見欄の中で見受けられた。今後は市民による公園管理の必要性をPRしていきながら官民一体となった公園管理を進めていき、併せて身近な公園の維持管理・施設更新を行うことで、満足度を少しでも上げていくよう取り組んでいく	
指標5	%	46.1%	47.0%	49.7%	○	●	現在、今井町地区のメインストリートでもある御堂筋の電線類地中化事業(約1,600m)を整備計画に基づき実施し、ほぼ予定通りに進捗している。また、街並みの景観を保全するという観点から、老朽家屋の改修に向け、建物所有者に対し、地区の規制・補助制度等について説明するといった「働きかけ」を積極的に起こった結果、建物改修(修景事業)が多数実施された。これらにより、目標とする結果につながった。さらに、今井西地区の環濠整備事業については、発掘調査の結果を基に実施設計をおこなったところであり、今後は今井西地区の玄関口として相応しい整備に取り組む。	
指標6	千人	225.0千人	227.5千人	247.0千人	○	●	市内の主要施設の来訪者数が増加しており、目標指標を大幅に上回る結果となった。しかし、国立施設・県立施設の来訪者数は増加しているが、6つある市立施設のうち2つの施設の来訪者数は横ばいであった。今後、橿原市の施設への来訪者数の増加を目指していくため、例えば平成28年5月に本格的にオープンをした「シルクの杜」のPR活動と連携させて「歴史に憩う橿原市博物館」のPR活動を行うなど工夫をしていき市立施設に多くの人に来てもらう仕掛けづくりを積極的に行っていく。	

3) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況	環境教育の一環で、平成26年度・平成27年度に出前講座を行ない、延べ20校・約1,380名の児童に簡易水質検査器具を用いての河川水質調査の実験を行ってもらい、水質汚濁の現状について学ぶ機会を提供した。また、環境PRイベントも2年間で4回(大型ショッピングセンター2回、奈良県橿原文化会館前広場2回)実施しており、PRブースで見学者約150名に実験器具を用いて水質検査をおこなっていただき、水質向上の意識づけをおこなった。これらのPR活動において、下水道の重要性を啓発することで、下水道に対する市民の理解度を深めてもらった。
-------------------------	---

4) 地区の概要



住環境整備事業  
16-A-1 今井町地区街なみ環境整備事業  
(整備面積 18.1ha)

C-6 観光客増加への魅力向上事業  
(観光道標)

C-7 今井西地区環濠整備事業

住環境整備事業  
16-A-2 移動等円滑化基本構想策定

都市公園等事業  
12-A-2 都市公園事業  
(新沢千塚古墳群公園)

C-5 新沢千塚古墳群公園

C-3 花いっぱい運動推進事業

下水道事業  
7-A-1 第2処理区 污水管渠

C-1 第2処理区 污水管渠(支線)

C-2 生活排水クリーンアップ推進事業

都市公園等事業  
12-A-1 植山古墳公園整備事業

C-4 植山古墳公園  
(公園案内板等整備)

凡 例		
行政区域界		.....
A7	下水道事業	
A12	都市公園事業	
A16	住環境整備事業	

5) 総合所見

国費が十分に配分されていない状況で目標を達成できない指標もあったが、コスト縮減の取り組みや費用対効果の高い事業の整備に先行して着手するなど効率的な事業展開を図った結果、主な事業の関連指標について改善が確認されたことから、順調に事業は進捗している。

6) 今後の方策

- ・本計画で実施している各事業に関する情報周知の活動(事前説明会・広報誌の活用・ホームページの活用)を継続的に行うことで、事業の必要性について、より一層市民に理解を深めてもらう。
- ・行政だけが事業を実施するのではなく、産学官民連携により市民ニーズに即して事業を実施していくことが必要であり、各種団体との協働で事業を実施することが事業効果の持続につながると思う。
- ・施設整備などの新たなハード面の整備だけでなく、既存施設を有効に活用し、市民サービスの向上を図っていくなどのソフト面を充実させ、事業を実施していくことが求められる。